美術の窓(119)

菓子袋の絵

大和文華館館長　浅野秀剛

お菓子よりお酒という私が、菓子袋の絵と菓子の商標について書いた。常日頃興味を持って接してきた分野ではないので、専門の人に頼んでほしいと言って逃げ回っていたのであるが、専門の人などいないと言われて遂に捕まり、この夏の調査の半分は菓子袋関係のことに費やした。その結果、いろいろ興味深いことが分かり、今では書かせていただいたことに感謝している。何よりも、江戸の人の生活に対する理解の幅が広がったのである。私は浮世絵が専門なので、江戸時代の生活に対しては多少知っているという自負があったが、なかなかどうして、ああそうだったのか、ということがたくさんあった。今回は、そのいくつかについて述べてみたい。

まず驚いたのは、江戸時代の菓子袋が、思いの外たくさん残っていたことである。虎屋文庫に収められている複数のコレクションや、山梨県立博物館所蔵の甲府八日町の升太こと升屋太郎右衛門で作った菓子袋は別格としても、国会図書館・東京都立中央図書館・天理図書館などに所蔵されている貼込帖に、菓子袋が貼られているのである。貼込帖というのは、今でいうスクラップ・ブックのようなもので、摺物・報条・納札・番付・商標・効能書・ラベル類などあらゆる小印刷物（なかには大きなものもあるが）をそのまま、あるいは切り抜いて貼り込んだものである。貼込帖には二つのタイプがある。一つは、単一のジャンルのものだけを貼り込んだもの、たとえば摺物貼込帖・納札貼込帖・見立番付貼込帖といった類である。もう一つは、なんでもかんでもというと、聞こえは悪いが、あらゆるジャンルの印刷物を貼り込んだものもある。入船扇蔵が蒐集した幕末期の商標・瓦版などの貼込帖『懐溜諸屑（ふところにたまるもろくず）』（国立歴史民俗博物館蔵）はその代表格で、約3400点も貼り込まれている大部なものである。100年、200年経つと何でも貴重な資料の例えどおり、古い菓子袋が残されているのはありがたかった。

次に驚いたのは、残された菓子袋の多くが、奉書紙と呼ばれる上質の紙で作られていたことである。錦絵（多色摺の浮世絵版画）の紙より余程上質なのである。私にとって、菓子袋といえば、小遣いで煎餅などを買った時に入れてくれた安手の袋しか思い浮かばない。袋の上部の両端を持って、くるくる回して渡してくれた光景が幼い頃の記憶である。江戸時代、安い駄菓子の菓子袋にもすべて高級な紙が使われていたとは信じられないが、今の私たちが想像するよりも上質な紙が使われたことは確かである。したがって、菓子袋を再利用し、薬などの保存に用いたり、白い部分を帳面にしたり、煤払いの時の被り物にするなど、ボロボロになるまで使いまわされた。実際に、帳簿類の保存袋、錦絵の包紙、絵本の装幀に再使用された例を確認できたのである。

菓子袋の表側には、「御菓子」・「極製御菓子」と書かれるか、菓子名、店名、商標などが摺り込まれるか、墨印等が捺されるかしたものが普通である。菓子名や切熨斗紙が貼られているのもある。表に菓子名、裏に店の商標というものもある。そういった文字だけのものも多いが、江戸時代後期になると、絵が摺り込まれるのも少なくないということを知ったのも驚きであった。葛飾北斎の「江戸八景」が菓子袋に使われていることを早くに知っていたので、浮世絵版画が摺り込まれている菓子袋があったことは認識していたが、絵入の菓子袋が珍しいわけではなく、北斎・広重・国芳・三代豊国などの著名な浮世絵師も、皆菓子袋の絵の版下を描いていたのである。江戸時代において、同一の画像を大量に制作する手段としては、浮世絵版画がほとんど唯一のものであったことを再認識した次第である。そして、浮世絵師は頼まれれば何でも描いていたということも再認識した。

最後に、興味深い例を紹介したい。『懐溜諸屑』には「成田山開帳場　牛車製風除　九州産大女三人兄弟　しん麦こがし」と記された10.5×8.6cmの商標も貼付されているが、それが、虎屋文庫所蔵の二代歌川国貞画「菓子袋を持つ女三兄弟」（大判錦絵二枚続、1856年）に描かれている「しん麦こがし」の菓子袋の表のものと一致したのである。錦絵に描かれた店には、「九州肥後の国熊本の産三人兄弟大女」「於松拾六才　丈六尺二　三拾貫八」「於竹拾二才　丈五尺五寸　二拾五貫五百」「於梅八才身丈四尺八寸目方拾八貫八百目」と書かれた紙札が吊り下げられている。成田山の出開帳の折に売られた「しん麦こがし」の販売に、三人の兄弟が駆り出され、その商標が別の形で残されたことになる。その二つが結びついた時、当時の販売状況が眼前に彷彿としてきたことはいうまでもない。

拙稿は、虎屋文庫発行の『和菓子』19号（2012年3月刊行予定）に掲載される予定である。

図1

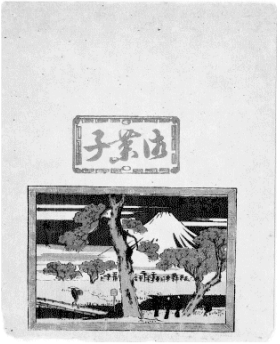

図2

図3

図1　菓子袋、歌川広重画「武陽小金井花盛」　吉田コレクション
図2　「しん麦こがし」の商標（『懐溜諸屑』より）　国立歴史民俗博物館蔵
図3　二代歌川国貞画「菓子袋を持つ女三兄弟」　虎屋文庫蔵

季刊 美のたより No.177
平成24年1月6日
発行　大和文華館

Copyright ©2012 The Museum Yamatobunkakan. All Rights Reserved.